

平成21年11月10日

各 位

上場会社名 新工業株式会社
 代表者 代表取締役社長 山田 弘光
 (コード番号 7305)
 問合せ先責任者 取締役経理部長 阪口 勉
 (TEL 06-6253-0221)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	40,000	△350	△450	△300	△5.11
今回発表予想(B)	33,000	△1,400	△1,400	△850	△14.64
増減額(B-A)	△7,000	△1,050	△950	△550	
増減率(%)	△17.5	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	45,308	△1,331	△1,346	△981	△16.59

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	20,500	300	200	100	1.70
今回発表予想(B)	17,000	△700	△750	△430	△7.41
増減額(B-A)	△3,500	△1,000	△950	△530	
増減率(%)	△17.1	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	24,511	325	438	313	5.30

修正の理由

昨年秋以降の世界的な金融危機に伴う景気後退の影響により、鋼管業界も厳しい経営環境が続いております。政府のエコカー減税などの効果もあって一部ひも付き受注に回復の兆しが見られますが、設備材・建設材ともに需要の落ち込みは大きく、特にステンレス製品においては、製品価格高騰時に起きたステンレス離れもあって、販売量と販売価格の両面で低迷しております。このような状況の下、当社グループにおきましては、新たな需要の掘り起こしと高付加価値製品の開発による受注量の確保に注力し、製造コストの削減、発送システムの改善などに取り組んでおります。しかしながら、まだまだ需要回復の足取りが重いなかで、材料価格・商品仕入価格の動向に対応して販売価格の是正が課題となっており、平成21年5月14日に公表いたしました当初の連結及び個別の通期業績予想を下回る見込みとなりました。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上